

事業実施状況指定管理者自己評価票

《別紙8》

施設名	国分寺市立しんまち児童館および第一・第二新町学童保育所および戸倉学童保育所
指定管理者名	株式会社 こどもの森

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由
画収 の 支 適 計 確 性	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	年間を通しての収支において適正に執行した。
	協定等に基づき業務が実施されているか	3	天候不良や気温の高さで、未実施のものもあったが、市の規定に従いながら実施していた。
業務 の 履 行 状 況 の 評 価	開館予定日数・開館時間は守られているか	3	仕様書等で求められた時間を遵守している。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	3	業務遂行に必要な従業員数が確保されている。また、館長を中心として執行体制が明確になっている。
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されているか	3	館長・リーダーは防火管理者資格を保有しており、届出をしている。また、保育や館運営に係る適切な職員配置および雇用形態であり、体制も明確になっている。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	PCはワイヤー錠をつける、または鍵のかかる書庫にしまい施設している。個人情報が含まれる書類は鍵付きの書庫に保管している。また、必要な報告は遅滞なく丁寧に行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	3	仕様書で求められた清掃を行い、軽微な修繕は職員が行う等して清潔で安全な状況が保てている。今年度は事務所回りを中心に環境整備を行い、利用者視点に立った使い易い備品・保育教材の配置に努めた。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	法廷点検や業務上必要な点検は確実に実施している。報告書等の書類はファイリングし、適切に保管している。
	利用者の満足度はどうか	4	利用者アンケートにおいても児童館・学童ともに子どものその日の出来事を連絡してもらえるのが嬉しい、子どもの気持ちに寄り添っていているなどの意見を頂いており、全体的に満足いただけている。
サー ビ ス の 質 に 関 す る 評 価	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	児童館イベントとして昨年度までは感染症の影響もあり実施できていなかった児童館お泊りイベントのオペとして「夜の児童館で遊ぼう」を開催し、花火や暗闇かくれんぼといった普段できないイベントを行ったり、学童ではクリスマスやハロウィンの大きなイベントでは子どもたちがスタッフとなりイベント内容を決めて運営するなど自主性も育め、利用者満足度の向上につながった。
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	3	指定管理者主催の接客マナー研修への参加に加えて、館内研修を行い職員のマナーの向上に努めている。昨年度、高評価であったユニフォームは継続して使用し、親子ひろば利用者からも学童、児童館の利用者からもスタッフのわかりやすく、安心との声を頂いている。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	3	今年度クレームには頂いていないが日々、利用者意見に耳を傾け保護者の方々が安心して子どもを預けられるよう邁進した。
	個人情報が適切に取り扱われているか	3	個人情報保護マニュアルを職員に周知し、個人情報の管理運用を的確に行なった。また関係機関とのやり取りの中では、守秘義務を意識しながら情報の共有を行った。
	業務に必要な研修を実施しているか	3	避難訓練時に消火・通報・AEDの訓練を行った。また、市、指定管理者の主催する研修にも参加している。新しい職員がいたため、基礎研修を多数受講し、法人内の他施設での研修にも参加し、より実践的にスキルアップを図っている。
	業務の改善を図ったか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	3	施設内にて各書類の提出期限決ま直し、期日を守ることを徹底したことにより毎月提出の書類などはほぼ期日を守ることができた。
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	障害を持ったその児童に合わせた対応を職員一同心がけ、その児童の特性に合わせた関わりを行った。定期的に職員間で児童についての情報共有を密に行なった。
	自然災害等への対応	3	火災や地震を想定した避難訓練を定期的に実施した。また、雷雨や降雪の予報が出た際には学童児に向けて話をし、状況判断する力を養う機会としている。
施設 水 の 準 特 の 性 評 に 価 応 じ た	学校及び地域との連携による児童の育成支援への取り組みについて	3	小学校の対応に沿った運営が出来るよう、学校とは定期的に情報交換を行っている。第十小学校では空き教室を分散教室として借用するため、毎週副校長先生と連絡を取りあつた。公民館の職員と連携し子ども祭りやミニ祭りなどに学童も参加した。今年度も地域の方からセタの笹を頂いたり、地域のおまつりに昔遊びコーナーを出店した。
	配慮する児童への対応について	3	学童の障がい児等配慮を必要とする児童の育成には、職員間で特に連携を密にしていき、その児童のできることや好きなこと、苦手なことや、嫌がることを全体で共有しどの職員が対応についても安全で楽しく過ごせるように配慮した。コミュニケーション能力の獲得の為に話しかけ、反応をうかがいながら少しずつコミュニケーションをとるように意識していた。
指定管理者の自己評価			
総合評価		評価の理由等	
3	市の要求水準を満たしている	アンケート結果等を見ても満足頂いている声を非常に多く頂くことができた。また、学童保育所の登録者数、利用者数が大幅に増えている中で様々なイベントを行い利用者や保護者方からも満足いただけた。今年度も継続して個人面談や長期休暇時の配食サービスにより、利用者の要望にもこたえることができた。特に保護者面談では保護者様のお悩みや子どもたちが家族にしか伝えられない悩みなども共有でき、対応していくことができた。児童館は天候不良や気温の問題で中止になったイベントもあったが、遠足やプレ児童館お泊りイベントなどといった昨年度までできていなかったイベントで大いに盛り上がることもできた。また、今年度も並木公民館・図書館との共催行事である子どもまつりの開催、公民館イベントのミニまつりに学童児童の参加、近隣中学校の職場体験の受け入れ、近隣小学校の社会科見学の受け入れなど地域ともよく連携することができた。来年度以降も多くのイベントを開催しながら利用者にとって安心安全で楽しく利用できる施設としていきたい。	
		評価者氏名：雲出 仁	